

錠取扱業って何？

株式会社ロックサービス 代表取締役
NPO法人 広島県生活安全防犯協会 理事長
総合防犯設備士

植野 博喜



私は地方都市の広島で錠取扱業を営んでいます。錠取扱業ってなに？と思われる人が大多数だと思いますが、俗にいわれている街の鍵屋さんです。全国で3,000店とか4,000店と聞きますが、店舗があったり、無店舗で電話と作業車だけで営業されていたりすることもありますので、正確な数は把握できておりません。

この職業を知ったきっかけは、学生時代に過ごした金沢のお寿司屋さんでアルバイトしていました。近所に派手な看板とガラス戸に「合カギ3分」と赤字で大きく書かれたカギ屋さんが有り、アパートの合カギを作りに行き帰ってその合カギで回すとガチと開いたので感激しました、今では当たり前かも知れませんが35年前で初めての体験でしたのでそう感じたのかも知れません。そのお寿司屋さんがお店を閉店する事になり、そこの社長さんがうちでアルバイトしないかとお声掛けいただきアルバイトして、卒業する前には、郷土で開業しようと決めていました。

昭和59年に広島に帰り、開業し1年ぐらい経った時に、この仕事をするならこの協会に入りなさいと薦められたのが、「広島県防犯機器業防犯協会」でした。事務局が広島県警察本部に在り、防犯課の警察官の方が事務局でおられました。その後、警察の組織変更に伴い、名称を平成11年「広島県生活安全防犯協会」に変更し、その前後に協会の事務局が組合員の会社に変更になり、平成13年に「特定非営利活動法人広島県生活安全防犯協会」と改め現在にいたっております。弊協会は昭和56年の設立で30年目を向かえ、全国で一番古い協会ではないかと自負しております。



防犯設備士には昔から関心が有り、当初は東京、大阪などの大都市のみで資格認定試験が行われており、平成5年に大阪に行き、受験して資格を取得しました。私は学生時代電気工学科の専攻でしたので電気的アレルギーは有りませんでした、いろいろ難しい用語を覚えるのが大変だった記憶が有ります。

たまたま仕事で昭和61年頃からATM（現金自動支払機）の無人化の工事が始まり、警備会社より一般錠から電気錠に加工取替の仕事依頼が有り、今後はカギ屋さんも電気錠とか、電気錠システム工事が重要になって来る必然性を感じ、社員も電気工事士の資格の有る人を採用しました。その頃から少しずつ電気錠システム工事、テンキーシステム、カードロックシステム等が出始め、仕事の内容が変化してきた様に思われます。

私たちの錠取扱業で変わったのが、平成10年の内閣総理大臣認可の「日本ロックセキュリティ協同組合」が設立された事です。最初は118名の設立同意者で立ち上げ、平成23年現在では、1,055社の組合員を擁するまでになっています。全国の同業者の半分

にもなっていないのですが、行政所管庁の警察庁のご指導の下、職業倫理の徹底、技術の向上、情報交換、社内検定制度の実施等と環境が180度変化してきました。

地方の錠取扱業者が全国の仲間と同じ仕事の事で、情報交換、技術交流、また仕事の依頼等で交流ができ、大変感謝しております。

話は変わりますが、NPO法人広島県生活安全防犯協会の活動は、広島県警察本部からの要請で、警察学校で防犯実務専科の講師、広島県安全・安心アカデミーの講師、広島県防犯連合会様より委嘱を受け、「広島県防犯モデル駐車場登録制度」の審査員、協会の活動では「小学校の防犯ブザー点検」等の様々な活動を行っています。近年は、講師、審査員等に防犯設備士の有資格者、中には、総合防犯設備士の有資格者でと依頼を受けることもあり、防犯設備士の認知度が上がってきているものと確信しております。

私は、日本ロックセキュリティ協同組合で教育委員として講師をさせていただいたり、NPO法人広島県生活安全防犯協会より、講師の依頼を受けたりする中、防犯設備士、総合防犯設備士のテキストを引っ張り出して予習し、講演活動に臨んでいるのが現状です。

皆様も防犯設備士、総合防犯設備士の資格を多いに活用され、地域防犯、社会貢献に役立てて頂きたいと思います。

